

●事業所自己評価表 結果(職員数:10人)

		職員評価			工夫している点
		はい	どちらともい	いいえ	
・環境、体制整備					
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1	0	大きな部屋が2つあり、利用定員は適切と考えています。パーテーションを使用して個室を作り、着替えや課題の場所、クールダウンの場所を作ることもあります。
2	職員の配置数は適切であるか	9	1	0	人員基準以上の配置をしており、更に外部からも要請をし、支援にあたっています。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	0	0	建物自体がバリアフリー設計となっており、障がいの有無に関わらず、誰もが利用し易くなっています。

・業務改善

4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	0	0	定期的にケース会議や定例会を開催しています。
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1	0	毎年、2月頃にアンケート調査を行っています。早急な改善が難しいところもありますが、出来ることから少しずつ行っています。
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	0	社会福祉法人燕市社会福祉協議会のホームページで公開しています。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	6	当施設は、第三者による外部評価は行っていませんが、運営委員会等で事業計画や事業報告を行い、業務改善に繋がられるよう努めています。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	主にオンライン研修により、職員の学びを深めました。また、感染症に注意を払った上で、オフライン研修に参加するもありました。

・適切な支援の提供

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0	保護者の方よりアセスメントやニーズの確認を行い、お子様ひとりひとりのニーズに合わせた計画を作成し、計画の説明を行っています。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	0	保護者の方よりフェイスシートを記入いただき、お子様の状態像の把握に努めています。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	0	毎朝ミーティングを行い、その日利用するお子様に合わせて活動を計画しています。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	その日に利用されるお子様の様子や支援計画の目標に沿って、楽しめることを考えながら活動を行っています。お子様にも意見を求め、一緒に考えることもあります。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	1	0	しっかりとした成長に結びつくよう、スモールステップを念頭に置いた課題設定をしています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0	状況、状態に合わせて集団の中での学びや、個別での学びを意識した計画を作成しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	朝礼の時と支援開始の前にミーティングを行っています。その日の活動や注意点、役割を決めています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	0	業務の都合上、翌日の朝礼にて前日の振り返りを行っています。気になった所は日報も活用し、情報共有を行っています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	実際にあったことを記入しています。気になるところはミーティングで共有し、支援の改善に努めています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	9	1	0	基本活動を念頭に置き、支援に努めています。

・関係機関や保護者との連携

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	0	主に児童発達支援管理責任者が出席しています。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか	10	0	0	定期的に学校訪問を行い、当施設での状況や学校での状況等について、情報共有を行っています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	1	9	当施設は、施設環境等から医療的ケア児の受け入れは困難な状況があります。利用されている子ども達の状況については、保護者との情報共有により、病院での摂食指導や対応等を確認しております。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	1	0	就学前に、相談員と一緒に園の様子を見学させてもらったり、児童発達支援事業所からの引き継ぎをする等、情報共有に努めています。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	10	0	0	サポートシートを作成しています。サービス担当者会議において、シート情報を基に情報の共有を行い、円滑な移行に努めています。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	2	直接の関わりはありませんでしたが、主治医の先生からの助言を参考にさせて頂くことはありました。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	0	3	7	子ども達同士の交流の機会については、特に設けていません。昨年は中止となりましたが、毎年開催されるはばたき祭では、子どもたちに来てもらい交流の場としています。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	3	0	定期的に参加し、課題や情報の共有を図っています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	お迎え時に、一日の様子を伝えています。また、定期的な計画の説明時にも評価としてお伝えしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	0	10	当事業所では、ペアレントトレーニングは行っていません。

・保護者への説明責任等

30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	9	1	0	契約時及び変更があった時は、皆様へ説明を行っています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	悩み事に対しては適宜対応させていただきます。なお、ご相談の内容によっては相談員や関係者を交えた対応をさせていただきます。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4	1	保護者会の直接的な支援は行っていません。保護者会を行う際は会場の提供を行っています。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	苦情受付担当者や責任者、第三者委員を設置しています。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	0	活動する部屋の前に、日々の活動の写真を掲示しています。また、年間行事も都度掲示し、発信しています。
35	個人情報には十分注意しているか	10	0	0	写真や名前など、人目につき個人が特定できるものは、保護者の方の同意を得た上で掲示及び使用しています。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	i Padや絵カードを使用してコミュニケーションを図っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	3	例年「はばたき祭」を開催して、地域の方に施設に来ていただき、利用者との交流を進めています。残念ながら今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止としました。

・非常時等の対応

38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	4	0	不審者対応訓練を実際に行った中で出て来た課題や対応を今一度精査しています。緊急時の対応についても検討しました。内容につきましては、後日お知らせします。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1	0	定期的に避難訓練を実施しています。救命救急や不審者対応訓練も実施しました。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	2	0	令和3年度に、法人による虐待防止委員会を立ち上げました。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	0	0	当事業所はご利用者の身体拘束を行いません。ただし、自傷他害の恐れがある等緊急やむを得ない場合は、ご利用者の生命又は身体を保護するために、行動を制止・抑制する行為を行うことがあります。この場合には、ご利用者の心身の状況、緊急やむを得なかった理由その他必要な事項を記録に残すこととしています。
42	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	2	0	保護者からの情報によりアレルギー情報を取得し、対応しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	事故防止委員会を開催し、事故の振り返りや対応を検討しました。発生したヒヤリハットは事業所内で共有しました。

●事業所全体評価

・情報発信の場としてLINEを活用し、緊急時の連絡や各種情報が速やかに保護者に伝達出来るよう努めていきます。

・親子の関わりが持てる機会を設定し、楽しめる場を検討していきます。

以上を改善及び強化すべき点ととらえ、今後の運営に生かしてまいります。

放課後等デイサービス事業所はばたき